

宮内陽子教授略歴・主要業績目録

学 歴

- 1953年3月 北海道大学文学部哲学科卒業
1953年4月 北海道大学大学院文学研究科入学
1956年3月 同退学
1963年10月 アラブ連合共和国カイロ大学文学部聴講生
1964年9月 同終了

(職 歴)

- 1956年5月～61年3月 中央大学哲学科助手
1962年9月～63年4月 アラブ文化図書館勤務
1966年4月～67年3月 札幌短期大学非常勤講師
1967年4月～71年8月 同専任講師
1968年4月～72年3月 札幌商科大学非常勤講師
1970年4月～72年3月 小樽商科大学非常勤講師
1971年9月～74年3月 札幌短期大学助教授
1974年4月～76年10月 同教授
1976年11月～84年3月 札幌商科大学教授
1978年9月～79年8月 ドイツ、エアランゲン＝ニュルンベルク大学留学
1996年10月～97年3月 札幌医科大学非常勤講師
1997年11月～98年3月 同上
1984年4月～98年3月 札幌学院大学（校名変更）教授
1998年3月 札幌学院大学定年退職
1998年10月～現在 札幌医科大学非常勤講師

(所属学会)

- 1953年4月～現在 日本哲学会会員
1975年4月～現在 北海道哲学会会員
1975年4月～現在 北海道大学哲学会会員
1996年11月～現在 国際生命倫理学会(IBA)会員

業 績

1. 翻訳書

マンフレート・リーデル『規範と価値判断—倫理学の根本問題—』(Manfred Riedel, *Norm und Werturteil. Grundproblem der Ethik*, Stuttgart 1979) お茶の水書房, 1983年8月

- 1) 「歴史における“rational explanation”」(1)札幌商科大学・札幌短期大学『論集』第12号、1974年3月
- 2) 「歴史における“rational explanation”」(2)札幌商科大学・札幌短期大学『論集』第13号、1974年12月
- 3) 「歴史的説明に関する試論—H. エイデルマンの“ヘンペルドレイモデル”研究をめぐって—」札幌商科大学・札幌短期大学『論集』人間研究特集号、1977年1月
- 4) 「哲学的人間学に関する覚え書—哲学的人間学の二、三の根本概念について—札幌学院大学『人文学部紀要』第38号、1985年12月
- 5) 「ヘルムート・ブレスナーにおける人間と身体」札幌学院大学『人文学部紀要』第42号、1988年1月
- 6) 「脳死について」札幌学院大学『人文学部紀要』第52号、1992年12月

3. 翻訳

- 1) R. ブルトマン「ギリシャ思想とキリスト教における歴史の理解」(R. Bultmann 'Verständnis der Geschichte im Griechentum und im Christentum' in: *Der Sinn der Geschichte*, hrsg. von L. Reinisch, Muenchen, 1961)、札幌短期大学『論集』第12号、1966年3月
- 2) R. G. コリングウッド「歴史の主題」(R. G. Collingwood 'The Subject-matter of History' in: *The Idea of History*, Oxford, 1962)、札幌短期大学『論集』第13号、1967年3月
- 3) R. G. コリングウッド「人間の本性と人間の歴史」(R. G. Collingwood 'Human Nature and Human History' in: *The Idea of History*, Oxford 1962)、札幌短期大学『論集』第14号、1968年3月
- 4) J. -G. メラン、S. ポリヴォダ「生かすことと死なせること—脳死の人間学と実際—」(J. -G. Meran, S. Poliwoda 'Leben und sterben lassen. Anthropologie und Pragmatik des Hirntodes' in: *Wann ist der Mensch tot? Organverpflanzung und Hirntodkriterium*, hrsg. von J. Hoff u. J. in der Schmitt, Reinbeck bei Hamburg, 1994)、札幌学院大学『人文学部紀要』第56号、1994年12月

4. その他

- 1) R. グレイヴズ、高杉一郎訳『ギリシャ神話』下巻(翻訳書下訳) 紀伊国屋書店、1973年
- 2) 国庫助成に関する全国私立大学教授会連合編『私学助成の思想と法』(共著) 勁草書房、1979年
- 3) 「M. リーデル著『規範と価値判断—倫理学の根本問題—』(1) (紹介) 札幌商科大学『論集』第28号、1981年1月
- 4) 「M. リーデル著『規範と価値判断—倫理学の根本問題—』(2) (同) 札幌商科大学『論集』第30号、1982年3月
- 5) 「ゆらぐ『死』の観念—脳死を考える—」(講義録) 札幌学院大学人文学部編『フォーラム人文』創刊号、特集「人間・その生と死—第十六回札幌学院大学土曜公開講座—」1996年2月

戸田昭治教授略歴・主要業績目録

学 歴

1954年3月 北海道大学教育学部教育学科卒業

略 歴

1954年4月～1960年3月 北海道岩見沢農業高等学校教諭
1960年4月～1969年3月 北海道札幌啓北商業高等学校教諭
1969年4月～1974年3月 札幌商科大学講師
1974年4月～1975年3月 札幌商科大学助教授
1974年4月～1992年3月 北海道大学教育学部兼任講師
1975年4月～1984年3月 札幌商科大学教授
1975年4月～現在 北星学園大学兼任講師
1984年4月～1998年3月 札幌学院大学（校名変更）教授
1993年4月～現在 北海道教育大学岩見沢校兼任講師
1998年3月 札幌学院大学停年退職

学会及び社会における活動等

1976年4月～1988年3月 北海道体育学会常任理事・理事
1977年4月～1998年3月 北海道地区大会体育連合事業部長・理事
1973年4月～現在 札幌市真駒内地区青少年育成委員会委員・副会長
1980年4月～1993年3月 札幌市南区体育指導委員会委員・会長
1980年4月～1996年3月 札幌市南区民センター運営審議会委員・会長
1983年4月～1993年3月 札幌市南区体育館運営協議会委員
1984年4月～1993年3月 札幌市体育指導委員会副会長・理事長
1984年7月～1993年3月 北海道体育指導委員連絡協議会理事長
1985年4月～1993年3月 財団法人原田スポーツ振興会評議員
1986年4月～1992年3月 札幌市社会教育委員
1986年4月～現在 北海道スノーホッケー協会副会長
1987年7月～現在 札幌市真駒内体育振興会会長

賞 罰

1983年 札幌市社会教育功労賞受賞
1984年 北海道体育指導委員連絡協議会功労賞受賞
1989年 全国体育指導委員連合功労賞受賞
1993年 北海道社会貢献賞受賞

業 績

1. 著書

- 1) 『大学体育』 学術図書出版社, 1984年4月
- 2) 『新大学体育』 学術図書出版社, 1991年3月

2. 論文

- 1) 「学生の体力に関する調査研究」 日本体育学会『体育学研究』第12回記録号, 1961年11月
- 2) 「競歩選手の運動適正トレーニング」 日本体育学会『体育学研究』第13回記録号, 1962年11月
- 3) 「競歩選手の機能測定調査成績」 日本体育学会『同上』第14回記録号, 1963年8月
- 4) 「高等学校正課体育時の運動量」 日本体育学会『同上』第16回記録号, 1965年11月
- 5) 「高校生および大学生の一般的な健康安全についての意識に関する実態調査」 日本体育学会北海道支部『体育学研究』第6巻, 1970年12月
- 6) 「中高年における健康と体力の諸問題」 (札幌商科大学、札幌短期大学『論集』第12号) 1974年3月
- 7) 「人権とスポーツ」 札幌商科大学、札幌短期大学『論集』第15号 1975年12月
- 8) 「豊かな生活の創造とスポーツ」 『みんなのスポーツ』日本体育社, 第11巻7号 1989年7月
- 9) 「みんなのスポーツの今日的機能」 『札幌学院大学人文学会紀要』第54号, 1993年12月13日
- 10) 「高齢者の地域参加へのスポーツ効果」 『札幌学院大学人文学会紀要』第56号, 1994年12月
- 11) 「高齢者の地域参加へのスポーツ効果」 (第2報・共著) 東海大学教育開発研究センター『所報』第8号, 1996年3月

3. 講演

- 1) 「地域スポーツの発展と体育指導委員の役割」 (上川管内体育指導委員研修会) 富良野スポーツセンター 1982年10月
- 2) 「長寿社会を指向したスポーツの振興について」 (北海道スポーツ指導員研修会) 釧路支庁会議室 1987年1月
- 3) 「生涯スポーツの基本的考え方」 (札幌市地域スポーツリーダー養成講習会) 中央区民センター 1991年10月
- 4) 「自立とスポーツ」 (秩父別町高齢者教室) 町民センター 1996年3月

他に多数あり

鈴木秀一教授略歴・主要業績目録

略 歴

- 1929年6月7日生まれ
- 1949年3月 山形高等学校（旧制）文科甲類卒業
- 1949年4月 東京大学文学部教育学科入学
- 1952年3月 同上卒業
- 1952年4月 東京大学大学院（旧制）文学部教育学入学
- 1954年11月 同上中退
- 1954年12月～58年4月 小樽商科大学専任講師（教育原理担当）
- 1958年5月～62年11月 北海道大学教育学部専任講師（教育方法論担当）
- 1962年12月～73年3月 同上助教授（教育方法論担当）
- 1973年4月～90年3月 同上教授（教育原理・教育方法論担当）
- 1976年3月～77年2月 ソ連邦・ポーランド・西ドイツ・アメリカで在外研究（文部省）
- 1984年4月～90年3月 札幌学院大学非常勤講師（教育方法論・教育課程論担当）
- 1981年9月～83年3月 北海道大学教育学部長
- 1990年3月 北海道大学退官，北海道大学名誉教授称号授与さる
- 1990年4月～98年3月 札幌学院大学教授（教育原理・教育方法論・教育課程担当）
- 1998年3月 札幌学院大学停年退職

（所属学会及び活動等）

- 1955年4月～現在 日本教育学会会員
- 1964年8月～現在 日本教育方法学会理事
- 1982年4月～84年3月 日本教育学会会計監査
- 1984年4月～98年8月 日本教育学会理事
- 1986年3月～96年3月 北海道教育学会会長

業 績

1. 著書

- 1) 大槻一夫他共著『練習の方法』明治図書，1962年9月
- 2) 山形大学教育学部附属小学校共著『授業の論理』明治図書，1965年6月
- 3) 城戸幡太郎他共著『教育課程の構造（「現代教育研究」6）』日本標準テスト研究会，1969年1月
- 4) 高村泰雄他共著『教育の課程と方法（講座「日本の教育」6）』新日本出版社，1975年5月
- 5) 『教育方法の思想と歴史』青木書店，1977年11月
- 6) 三上勝夫共著『文学作品の読み方教育論』明治図書，1986年

- 7) 『教育方法を問い直す（「教育方法」17）』日本教育方法学会，1988年
- 8) 『「態度評価の学力論」どこが問題か』明治図書，1993年6月

2. 論文等

- 1) 『文芸の授業はどうあるべきか』明治図書「文芸教育」No35, 36, 39, 42, 1982年4月～84年7月
- 2) 『学力観を変革する実験的教育の発展を』明治図書「現代教育科学」No409, 1990年12月
- 3) 『創造的なきまりをつくり出す人間を育てるために』明治図書「小学校学級経営」No59, 1991年1月。
- 4) 『学力づくりと学力論の諸問題』明治図書「現代教育科学」No413～425, 1991年4月～92年3月
- 5) 『真の共同研究と集団思考を求めて—全授研の志したもの—』明治図書「同上」No417, 1991年8月
- 6) 『多様化の中で創造的な学力を求める授業を』明治図書「同上」No444, 1993年11月。
- 7) 『教師の力量を大きくする方向で参考資料をとらえる』明治図書「同上」No445, 1993年12月
- 9) 『社会の科学的認識形成を中核として』明治図書「現代教育科学」No465, 1995年8月
- 8) 『授業研究—実証的研究の追求—』「教育科学国語教育」No510, 1995年6月
- 10) 『私立大学における教員養成の課題と展望』「教師教育研究」第8号, 1995年7月

学術論文，上記のほか約100点（省略）

執筆者紹介 (掲載順)

| | |
|-------------|-----------|
| 生田 邦夫 | ・ 本学人文学部 |
| 小山 充道 | ・ 本学人文学部 |
| 坪井 主税 | ・ 本学人文学部 |
| 屋良 朝彦 | ・ 本学非常勤講師 |
| H. J. DAVID | ・ 本学外国人教師 |

学会役員

| | |
|-------|-------|
| 学 会 長 | 中野 徹三 |
| 総務幹事 | 船津 功 |
| 幹 事 | 後藤 弘 |
| 幹 事 | 杉山 吉弘 |

- 第35号より、誌名が「札幌商科大学論集人文編」から「札幌学院大学人文学部紀要」へ変更されました。
- 第45号より、誌名が「札幌学院大学人文学部紀要」から「札幌学院大学人文学会紀要」へ変更になりました。

宮内陽子教授・戸田昭治教授・鈴木秀一教授
退職記念号

札幌学院大学人文学会紀要 第64号

1998年9月30日印刷

1998年9月30日発行

編集兼
発行者 札幌学院大学人文学会
〒069-8555 北海道江別市文京台11番地
電話 (011)386-8111

代表者 中野 徹三

印刷所 (株)北海道機関紙印刷所
